

# 「応用生態工学会福岡 2020九州地区事例・研究発表会」 開催案内



## ●会の趣旨

応用生態工学会福岡では、九州地区における応用生態工学の普及や産学官民の連携強化などを目的に、九州地区事例・研究発表会を開催しています。

今回は、流域治水や平成29年7月九州北部豪雨後の川づくり、九州地区の最新の事例・研究について、幅広い分野からの発表を行います。

なお、今回はコロナ禍の中での開催となりましたので、感染拡大防止を考慮しZOOMウェビナー形式での開催となります。

年末の忙しい時期ではありますが、皆様ふるってご参加ください。



## ●主催：応用生態工学会福岡

●日時：2020年12月17日(木) 13:00～17:20

●開催方法：ZOOMウェビナー ※各発表後に参加者から質問・意見等が可能です。

## ●プログラム：

12:30～13:00	ZOOM 受付
13:00～13:10	開会挨拶
13:10～14:10	口頭発表（豪雨災害・川づくり）20分×3題
14:10～14:20	休憩
14:20～15:40	口頭発表（事例・研究）20分×4題
15:40～15:50	休憩
15:50～17:10	口頭発表（事例・研究）20分×4題
17:10～17:20	閉会挨拶

## ●参加資格・参加費

どなたでも参加いただけますが、ZOOM 接続環境の確保をお願いします（ZOOM のインストール及び操作に関するお問い合わせにはお答えできません）。

参加費は無料です。

## ●CPD

参加者には受講証明書を交付します（建設コンサルタンツ協会 CPD 認定プログラム申請予定）

## ●お申込み・お問い合わせ先

下記メールアドレスに①氏名、②所属、③返信先メールアドレスをご連絡下さい。後日招待 URL をお送りします。注意：受講証明書は申込者にのみ交付します。

E-mail：t-saito@wjec.co.jp

応用生態工学会福岡 事務局(西日本技術開発(株)環境部内) 齋藤剛

# 応用生態工学会福岡 2020九州地区事例・研究発表会 プログラム

12月17日(木) 13:00~17:20 (WEB開催)

太字は発表者

	時間	No.	内容	発表者
受付	12:30 ~13:00			ZOOM 受付
挨拶	13:00 ~13:10	—	開会挨拶	○島谷 幸宏(応用生態工学会理事、九州大学・院 工学研究院 環境社会部門)
口頭発表① 13:10 ~14:10	<b>豪雨災害・川づくり</b>			
	1	流域治水と豪雨災害後の川づくり	○島谷 幸宏(応用生態工学会理事、九州大学・院 工学研究院 環境社会部門)	
	2	赤谷川災害復旧事業における配慮事項	○遠山 哲生(国土交通省 九州地方整備局 筑後川河川事務所 九州北部豪雨復興出張所)	
	3	H29年豪雨による桂川復旧事業における生態保全の取組み	○堤 祥亮・浦川 安正(福岡県 県土整備部 朝倉県土整備事務所 災害事業センター 災害河川第二課)	
休憩	14:10 ~14:20			休憩
口頭発表② 14:20 ~15:40	<b>事例・研究</b>			
	4	伝統技術による石畳堰の水理模型実験	○兒玉 健佑(九州大学・院 工学府)、林博徳・島谷幸宏(九州大学・院 工学研究院 環境社会部門)	
	5	河川堤防に繁茂するセイバンモロコシの抑制技術について	○山根 明(西日本技術開発株式会社 環境部)、友口 勇生(九州産業大学・院 工学研究科 現:中津市役所)、内田 泰三(九州産業大学 建築都市工学部)、津守 玲(九州大学・院 生物資源環境科学府)、平館 俊太郎(九州大学・院 農学研究院 環境農学部門)	
	6	河川におけるニホンウナギの生息環境と遡上能力について	○松重 一輝・安武 由矢(九州大学・院 生物資源環境科学府)、日比野 友亮(北九州市立自然史・歴史博物館)、望岡 典隆(九州大学・院 農学研究院 資源生物学部門)	
	7	種の保存法指定種ハカタスジシマドジョウの生息状況	○柞磨 佑紀・梅村 啓太郎・百富 修平(九州大学・院 生物資源環境科学府)、鬼倉 徳雄・栗田 喜久(九州大学・院 農学研究院 資源生物学部門)	
休憩	15:40 ~15:50			休憩
口頭発表③ 15:50 ~17:10	<b>事例・研究</b>			
	8	環境 DNA メタバーコーディングの空間解像度調整に関する検討~フィルター粒子保持径に着目して~	○乾 隆帝(福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科)、中尾 遼平・宮園 誠二・齋藤 稔・赤松 良久(山口大学・院 創成科学研究科)、河野 誉仁(国立研究開発法人土木研究所 自然共生研究センター)、小林 勘太(山口大学・院 創成科学研究科)	
	9	環境 DNA 分析を用いたカゼトゲタナゴ検出法の確立	○百富 修平・梅村 啓太郎・柞磨 佑紀(九州大学・院 生物資源環境科学府)、鬼倉 徳雄・栗田 喜久(九州大学・院 農学研究院 資源生物学部門)	
	10	写真測量による球磨川河口干潟の地形変化について	○伊豫岡 宏樹(福岡大学 工学部 社会デザイン工学科)、小山 彰彦(熊本大学・院 先端科学研究部)、乾 隆帝(福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科)、鬼倉 徳雄(九州大学・院 農学研究院 資源生物学部門)、皆川 朋子(熊本大学・院 先端科学研究部)	
	11	カブトガニ幼体の生息適地となる干潟の推定~福岡県の生息地を対象として~	○小山 彰彦(熊本大学・院 先端科学研究部)、平田 大雅・川原 優紀(熊本大学 工学部 社会環境工学科)、伊豫岡 宏樹(福岡大学 工学部 社会デザイン工学科)、久保園 遥(九州大学 21世紀プログラム)、板谷 晋嗣(つやざき海辺の自然学校)、鬼倉 徳雄(九州大学・院 農学研究院 資源生物学部門)、皆川 朋子(熊本大学・院 先端科学研究部)	
挨拶	17:10 ~17:20	—	閉会挨拶	○鬼倉 徳雄(九州大学・院 農学研究院 資源生物学部門)